

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター  
平成26事業年度 年度計画評価表

項目番号			年度計画		実施 状況	地方独立行政法人 自己評価		評価委員会評価	
大	中	小	内 容	目 標 数値等		評 価	評 価	評価の判断理由・評価 に対するコメントなど	
1			住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置						
	1		救急医療		実施				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>救命救急センターとしての機能を発揮し、重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入に対応する。</li> </ul> <p>〈関連する数値目標〉 救急車搬送受入患者数：1,600人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとしての役割を担うとともに、医師会の協力を仰ぎ夜間急病診療所機能のメディカルセンターへの移転等について検討する。</li> <li>二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担うとともに、平成26年5月より一月あたり夜間4コマ、6月より休日日中2コマ病院群輪番制に参加する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>救命救急センターとしての機能を発揮し、重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入を行った。</li> </ul> <p>〈実績数値〉 救急車搬送受入患者数：2,315人 救急搬送受入件数（地域別：主なもの） 山武郡市：1,777人 長生郡市：211人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとして患者の受入を行った。</li> <li>二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担い、平成26年5月より一月あたり夜間4コマ、6月より休日日中2コマ病院群輪番制に参加した。</li> </ul> <p>〈実績〉 5月13日 山武郡市二次救急医療輪番開始（1月あたり内科系2日、外科系2日） 6月29日 山武郡市休日当番開始 （二次内科系1日、二次外科系1日）</p>	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間急病診療所機能のメディカルセンターへの移転等の検討については進捗がなかったが、部分開院による限られた体制の中、救急車搬送受入患者数は目標値を大きく上回っており、山武地域をはじめ、救急受入体制が向上していることは評価できる。</li> <li>ドクターヘリを南北2系統合わせて年間48件受け入れていることは評価できる。</li> </ul>	

2		<p>地域の中核病院として担うべき医療</p> <p>(1) 小児医療・小児救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科を中心とした3階混合病棟において、急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療を提供する。</li> <li>・救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力の下小児救急医療への対応ができるよう準備を整える。</li> </ul>	実施	<p>小児医療・小児救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科を中心とした3階混合病棟において、急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療の提供を行った。</li> <li>・救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力の下小児救急医療に対応した。</li> </ul> <p>〈実績数値〉 小児科入院延患者数： 481人 小児科外来延患者数：2,968人</p>	4	4	
		<p>(2) 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期病床において、正常分娩を中心に対応した周産期医療ができるよう人材確保を行い準備を整える。</li> </ul>	実施	<p>周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期病床において、正常分娩を中心に対応した周産期医療ができるよう人材確保を行えなかった。</li> </ul>	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産科開設の見通しが立たない状況の中、助産師による意見交換会等が行われ、モチベーションを維持していることは評価できる。</li> <li>・今後も産科医の確保を対策を立ててお願いしたい。</li> </ul>
		<p>(3) 災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DMAT（災害派遣医療チーム）の整備を図り、地域災害拠点病院の指定を受ける。千葉大学医学部附属病院のDMATとの連絡体制を整える。</li> <li>・災害発生時に備え、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、小型非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水等を段階的に配備する。</li> <li>・メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行うとともに、DMATを中心に災害救護を想定した各種訓練に参加し、災害医療に対応可能な体制を整備する。</li> </ul>	実施	<p>災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DMAT（災害派遣医療チーム）を整備し地域災害拠点病院の指定を受けた。千葉大学医学部附属病院のDMATとの連絡体制を整えた。</li> <li>・災害発生時に備え、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、小型非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水等を配備した。</li> <li>・メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行った。DMATを中心に災害救護を想定した各種訓練に参加した。</li> </ul>	3	3	



	<p>中心に地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保する。</p> <p>③ 急性心筋梗塞 急性心筋梗塞については、24時間365日体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供する。</p> <p>④ 糖尿病 平成27年度より診療を開始する予定の糖尿病については、糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入について対応できるよう準備を行う。 また、糖尿病の治療が必要な患者については地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し受入先を確保する。</p>	<p>った。 また、急性期医療に専念するため、地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保した。</p> <p>③ 急性心筋梗塞 急性心筋梗塞については、24時間365日体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供した。</p> <p>④ 糖尿病 平成27年度より診療を開始する予定の糖尿病については、糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入について対応できるよう準備を行った。 また、糖尿病の治療が必要な患者については地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し受入先を確保した。</p>			
(2)	<p>高度で専門性の高い医療</p> <p>① 高度な総合医療 入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供するとともに、各診療科の体制を整備し、外来診療については地域医療機関との役割分担のもと専門外来を中心に高度医療機器等による検査等を行うことで、地域の中核病院として高度な総合医療を提供する。</p> <p>② チーム医療の推進 それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科の連携による救急医療を提供する。また、早期リハビリ等の分野におけるチ</p>	<p>実施</p> <p>高度で専門性の高い医療</p> <p>① 高度な総合医療 入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供し、16診療科の体制を整備した。外来診療については地域医療機関との役割分担のもと専門外来を中心に高度医療機器等による検査等を行うことで、地域の中核病院として高度な総合医療を提供した。</p> <p>② チーム医療の推進 それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科の連携による救急医</p>	3	3	

		<p>ーム医療体制を整備する。</p> <p>③ 高度専門医療の充実</p> <p>医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、必要に応じて診療科の再編や病院機能の充実又は見直しを行い、より高度な専門医療体制を目指す。</p> <p>また、医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定を目指す。</p>						<p>療を提供した。</p> <p>③ 高度専門医療の充実</p> <p>医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、必要な診療科を整備した。より高度な専門医療体制を構築した。</p> <p>また、医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定を取得する検討を行った。</p>
4		安全・安心で信頼される医療						
	(1)	医療安全対策の徹底						
		<p>① 医療安全対策の徹底</p> <p>医療安全管理委員会を設置し、院内で発生した又は発生しそうになった医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行うとともに、医療事故発生時には十分な検証と検証結果を公表するなど医療安全対策を徹底する。</p> <p>また、医療安全管理マニュアル等の各種マニュアルを整備するとともに、医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図る。</p> <p>② 院内感染防止対策の徹底</p> <p>感染管理委員会による研修会の実施、また、千葉大学医学部附属病院との合同カンファレンスなど、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図るとともに、問題点を把握し改善策を講ずるなど院内感染防止対策を徹底する。</p> <p>また、院内感染防止に関するマニュアルを整備し、院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適切に対処する。</p>	実施	<p>① 医療安全対策の徹底</p> <p>医療安全管理委員会を設置し、院内で発生した又は発生しそうになった医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行った。</p> <p>また、医療安全管理マニュアル等の各種マニュアルを整備し、年2回医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図った。</p> <p>〈実績〉</p> <p>平成26年9月30日・平成27年2月26日 医療安全・感染対策研修会実施</p> <p>② 院内感染防止対策の徹底</p> <p>感染管理委員会による研修会を実施した。また、千葉大学医学部附属病院の研修に参加する等、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図った。</p> <p>また、院内感染防止に関するマニュアルを整備し、院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適切に対処した。</p>	3	3		

	(2)	患者の視点に立った医療の実践 インフォームド・コンセントを徹底するため、患者やその家族に対し満足度調査等を実施し、現状を把握する。		患者の視点に立った医療の実践 インフォームド・コンセントを徹底するため、患者やその家族に対し満足度調査等を実施し、現状を把握した。	3	3	
	(3)	医療の標準化と診療情報の分析 クリニカルパス推進委員会を中心に、より効果的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間の短縮にも寄与できるようクリニカルパスの積極的な活用を図る。 また、診療情報データ提出を行い、DPC（診断群分類別包括評価）対象病院の認定を目指す。	実施	医療の標準化と診療情報の分析 クリニカルパス推進委員会を中心に、より効果的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間の短縮にも寄与できるようクリニカルパスの導入及び運用を行った。 また、診療情報データ提出は当年度対応できず次年度対応とした。 DPC（診断群分類別包括評価）対象病院の認定については、平成30年取得を目指し具体的な検討を行った。	2	2	・DPCのデータ集積を経営改善に役立てていただきたい。
	(4)	法令・行動規範の遵守（コンプライアンス） 公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめ、関係法令を遵守するとともに、住民からの信頼を確保するために各種マニュアルを整備し、適切な運用を図る。		法令・行動規範の遵守（コンプライアンス） 公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめ、関係法令を遵守するとともに、住民からの信頼を確保するために各種マニュアルを整備し、適切な運用を図った。	3	3	
5		患者・住民サービスの向上					
	(1)	利用しやすい病院づくり 患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃を徹底する。出入口への車いすの配置や、総合案内の設置により高齢者や障害者が安心して医療を受けられる体制を整備する。 また、患者サービス向上委員会を活用し入院患者やその家族を対象に満足度調査を行い、現状を把握する。	実施	利用しやすい病院づくり 患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃を徹底し、出入口の車いすの配置や、総合案内の対応により高齢者や障害者が安心して医療を受けられる体制を整備した。 また、患者サービス向上委員会を活用し入院患者やその家族を対象に満足度調査を行い、現状を把握した。	3	3	
	(2)	患者の待ち時間への配慮 外来診療、会計等の待ち時間に配慮し、外来診療の予約制を導入する。		患者の待ち時間への配慮 外来診療、会計等の待ち時間に配慮し、外来診療の予約制を導入した。	3	3	・予約制の導入は評価する。効果の検証が必要である。

	(3)	患者・来院者の利便性への配慮 患者や来院者の利便性に配慮し、売店やATMの設置、クレジットカード決済を導入する。	患者・来院者の利便性への配慮 患者や来院者の利便性に配慮し、売店やATMの設置、クレジットカード決済を導入した。	3	3	
	(4)	住民への保健医療情報の提供 広報委員会を中心に医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、住民対象の公開講座の開催やホームページの活用等により保健医療情報を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図る。	住民への保健医療情報の提供 医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、住民対象の公開講座の開催やホームページの活用等により保健医療情報を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図った。	3	3	
	(5)	職員の接遇向上 患者や来院者に接するに相応しい接遇を職員一人ひとりが心がけ、思いやりと気配りがあふれ、心落ち着く対応を行うための研修を実施する。	職員の接遇向上 患者や来院者に接するに相応しい接遇を行うため、看護部門等で重点的に研修を実施した。	3	3	・看護部門だけでなく医師の接遇研修も必要である。
6		地域医療への貢献				
	(1)	地域医療機関等との連携推進 地域医療連携室を中心に、紹介された患者の受入と患者に適した地域医療機関等への逆紹介を推進するとともに、千葉県が推進する循環型地域医療連携システム（地域医療連携パス）の活用を図ることで、患者が急性期から回復まで切れ目のない医療を受けられる体制を整備する。 〈関連する数値目標〉 紹介率 40% 逆紹介率 60%	地域医療機関等との連携推進 地域医療連携室を中心に、紹介された患者の受入と患者に適した地域医療機関等への逆紹介の対応を行った。 千葉県が推進する循環型地域医療連携システム（地域医療連携パス）についての体制を整備した。 〈実績数値〉 紹介率 55.29% 逆紹介率 43.96%	3	3	・周辺医師会との連携を更に密にして、患者の紹介を増やすべきである。
	(2)	保健福祉行政等との協力 地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図るとともに、自治体消防部局と連携し救急救命士や救急隊員の教育を行う。 また、医師会については、その活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図る。	保健福祉行政等との協力 地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図った。 自治体消防部局と連携し平成27年度から山武長生メディカルコントロール協議会を設立し救急業務の高度化への体制を整えた。 また、医師会については、その活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図った。	3	3	

	(3)	<p>疾病予防の取組                  予防医療の一環として、予防接種については、インフルエンザワクチン等各種ワクチンの個別接種を行う。</p>		<p>疾病予防の取組                  予防医療の一環として、予防接種については、インフルエンザワクチン等各種ワクチンの個別接種を行った。</p>	3	3	
7		<p>メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟</p> <p>平成26年度については以下のとおりとし、平成28年度までの3年間で段階的に診療科を開設する。                  なお、呼吸器内科及びリハビリテーション科については前倒して平成26年度からの開設とする。</p> <p>〈計画〉  <b>【診療科】</b>                  内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科（16診療科）</p> <p><b>【開設病棟】</b> 146床                  （一般病棟） 3病棟 126床                  （救命救急センター） ICU 10床                  HCU 10床</p> <p><b>【医師数】</b> 35人  <b>【看護師数】</b> 145人</p>		<p>平成26年度の開設診療科等は以下のとおりである。</p> <p>〈実績〉  <b>【診療科】</b>                  内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科（16診療科）</p> <p><b>【開設病棟】</b> 120床                  （一般病棟） 3病棟 100床                  （救命救急センター） ICU 10床                  HCU 10床</p> <p><b>【医師数】</b> 29人  <b>【看護師数】</b> 125人</p>	3	3	<p>・呼吸器内科が前倒して開設できたことは評価できる。</p>
2		業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置					
1		効率的かつ効果的な業務運営体制の整備					
	(1)	<p>効率的かつ効果的な業務運営体制の整備                  医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと各部門責任者や院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うことができる効率的かつ効果的な業務運営体制を整備する。</p> <p>また、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するため、各部門責任者等で構成する自己評価のための組織を立ち上げ、目標達成の進捗管理のための準</p>	実施	<p>効率的かつ効果的な業務運営体制の整備                  医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと各部門責任者や院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うための運営委員会を整備した。</p> <p>また、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するため、各部門責任</p>	2	2	

		備を行う。		者等で構成する自己評価のための組織の構築はなされていない。			
	(2)	<p>人員配置の弾力的運用</p> <p>開院初年度の流動的な患者動向に対応するため、定期的又は必要に応じて迅速に医師や看護師等の人員配置の見直しを適宜行う。</p>		<p>人員配置の弾力的運用</p> <p>開院初年度の流動的な患者動向に対応するため、定期的又は必要に応じて迅速に医師や看護師等の人員配置を行った。</p>	3	3	
	(3)	<p>人事評価制度の導入</p> <p>職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度を導入する。効果的な評価制度とするため、評価者研修等を行う。</p>		<p>人事評価制度の導入</p> <p>人事評価制度の導入はしていない。今後行うべく検討していく。</p>	1	1	・人事評価制度については、段階的に導入できるように、無理のない制度設計をしていただきたい。
	(4)	<p>外部評価</p> <p>① 監査の活用</p> <p>監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行うとともにその結果を公表する。</p> <p>② 病院機能評価等の活用</p> <p>組織的に医療を提供するための基本的な活動や機能を適切に実施しているかを検証するため、病院機能評価等の評価項目による検証を行うための準備を行う。</p> <p>③ 住民意見の活用</p> <p>住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を活用した満足度調査の実施や意見箱の設置などにより住民から意見を収集し、現状を把握する。</p>		<p>外部評価</p> <p>① 監査の活用</p> <p>監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行い、結果を公表した。</p> <p>② 病院機能評価等の活用</p> <p>組織的に医療を提供するための基本的な活動や機能を適切に実施しているかを検証するため、病院機能評価等の評価項目による検証を行うため検討した。</p> <p>③ 住民意見の活用</p> <p>住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を活用した満足度調査を実施した。また、意見箱の設置を行い、現状を把握に努めた。</p>	3	3	
2		人材の確保					
	(1)	<p>千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携</p> <p>千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセンターへの定着を図るとともに、指導医による安定的な診</p>	実施	<p>千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携</p> <p>千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセン</p>	3	3	

		療体制を整備する。		ターへの定着を図るとともに、指導医による安定的な診療体制を整備した。			
	(2)	<p>医師の確保</p> <p>千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、臨床研修医の受入体制を検討する。</p>		<p>医師の確保</p> <p>千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、臨床研修医の受入体制を整備した。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>産科等の不足する医師の確保を対策を立ててほしい。</li> </ul>
	(3)	<p>看護師の確保</p> <p>質の高い看護を提供するため、合同就職説明会への参加、就職説明会・採用試験の複数回実施、インターネットをはじめとした各種媒体への広告掲載、奨学金制度等により、各部門に応じた入院基本料に対応する看護師配置基準による計画的な看護師確保を図る。</p> <p>また、千葉大学、城西国際大学等の看護師養成機関からの看護学生の実習を積極的に受け入れ、地域における看護師の育成に寄与する。特に最終学年の学生を対象にインターンシップを実施し、実際の医療現場を経験させることで卒業後のメディカルセンターへの就職希望者の確保を図る。</p>		<p>看護師の確保</p> <p>質の高い看護を提供するため、合同就職説明会への参加、就職説明会・採用試験の複数回実施、インターネットをはじめとした各種媒体への広告掲載、奨学金制度等により、各部門に応じた入院基本料に対応する看護師配置基準による計画的な看護師確保を図った。</p> <p>また、千葉大学、城西国際大学等の看護師養成機関からの看護学生の実習は、次年度以降受け入れることとした。</p>	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護学生の実習受入ができなかったが、開院初年度からICU・HCUをフル稼働させている状況のなか、就職説明会の開催等、募集活動を行ったことは評価できる。</li> <li>次年度以降の実習受入に対し、実習指導の看護師の体制整備が必要である。</li> <li>病棟拡大に向けた看護師の確保を対策を立ててほしい。</li> </ul>
	3	<p>人材育成</p> <p>部門、職種及び階層に応じた研修計画をする。学会、研究会及び研修会への参加と職務上必要な資格の取得を計画的に促進する。</p> <p>医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得を促進するとともに、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職についても、専門性と医療技術の向上に向けた計画的な研修計画の策定を検討する。</p> <p>また、事務職員については、診療情報管理士等の必要な資格取得を促進する。</p>	実施	<p>部門、職種及び階層に応じた研修計画を整備し学会、研究会及び研修会への参加と職務上必要な資格の取得を計画的に促進した。</p> <p>医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得を促進するとともに、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職についても、専門性と医療技術の向上に向けた計画的な研修計画を整備し</p>	3	3	



		<p>一般病床：126 床          病床利用率          ICU： 70.0%          HCU： 70.0%          一般病床：70.0%          外来平均患者数：412.2 人          入院平均患者数：102.2 人</p> <p>また、診療費未収金の発生防止のために入院保証金制度を実施するとともに、未収金状況把握のための定期的な事務会合を行い、適宜臨戸徴収を行う。          保険委員会を中心に査定返戻等の防止に取り組む。</p>		<p>一般病床：100 床          病床利用率          ICU： 78.2%          HCU： 81.2%          一般病床：80.0%          外来平均患者数：116 人          入院平均患者数： 83 人</p> <p>また、診療費未収金の発生防止のために入院保証金制度を実施した。未収金については、定期的な事務会合を行い、臨戸徴収を行った。          保険委員会を中心に査定返戻等の対策を講じた。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携による紹介率・逆紹介率の向上については、一定の基準を達成した場合、DPCを取得した際の診療報酬の加算もあることから、今後の計画も踏まえ進めていただきたい。</li> <li>・外来患者数の増加を図る工夫として、救急だけではない病院であることをもう少しアピールしてもよい。</li> <li>・収入に対する支出の割合が多い状況にある。今後、収益確保等、一層の努力をお願いしたい。</li> </ul>
	(2)	費用の合理化					
		<p>中期的視点で予算編成を行い、予算科目や年度間で弾力的に運用できる地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行うとともに、透明性、公平性の確保に十分留意しつつ民間病院の取組を参考に複数年契約、複合契約等の多様な契約手法の導入や外部委託の活用を図る。          また、薬品、診療材料の在庫管理を適正に行い院内在庫を必要最小限に抑えるとともに、薬事委員会にてジェネリック医薬品を採用し、費用の節減を図る。</p>	実施	<p>中期的視点で予算編成を行い、予算科目や年度間で弾力的に運用できる地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行うとともに、透明性、公平性の確保に十分留意しつつ民間病院の取組を参考に複数年契約、複合契約等の多様な契約手法を採用した。          また、薬品においては在庫システムを導入し診療材料においては業務委託とする等で在庫管理を適正に行った          薬事委員会を整備しジェネリック医薬品の採用は少ないながらも採用医薬品の</p>	3	3	

		<p>〈関連する数値目標〉</p> <p>事 項 平成26年度目標</p> <p>経常収益 3,369 百万円</p> <p>入院 一般病床利用率 70%</p> <p>平均患者数 88.2 人/日</p> <p>診療報酬単価 40,400 円</p> <p>外来 平均患者数 412.2 人/日</p> <p>診療報酬単価 7,070 円</p>		<p>項目数の調整で費用の節減を図った。</p> <p>〈実績数値〉</p> <p>事 項 平成26年度実績</p> <p>経常収益 3,328 百万円</p> <p>入院 一般病床利用率 80%</p> <p>平均患者数 67.5 人/日</p> <p>診療報酬単価 46,458 円</p> <p>外来 平均患者数 116.2 人/日</p> <p>診療報酬単価 13,872 円</p>			
4		その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置					
	1	<p>財政負担の原則</p> <p>運営費負担金等（地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第85条第1項に基づき設立団体が負担すべき経費及び同法第42条に基づき設立団体が交付できる金額をいう。以下同じ）は、「地方独立行政法人法等の施行に係る公営企業型地方独立行政法人の取扱いについて（平成16年4月1日総財公第39号総務省自治財政局公営企業課長通知）」中、「第一 設立団体が負担すべき経費等について」に定められた基準により、救急医療、災害時医療等の政策医療に係る経費及び高度医療、小児医療、周産期医療等の不採算経費に充てる。</p> <p>また、長期借入金等元利償還金に充当する運営費負担金等については料金助成のための運営費負担金等とする。</p>	実施	<p>財政負担のとおり実施した。</p> <p>総 額： 689,642,000 円</p> <p>東金市： 510,591,000 円</p> <p>九十九里町： 179,051,000 円</p> <p>長期借入金等元利償還金に充当する運営費負担金の額</p> <p>総 額： 109,129,039 円</p> <p>東金市： 85,205,455 円</p> <p>九十九里町： 23,923,584 円</p>	3	3	
	2	<p>地域に対する広報</p> <p>医療センターNEWS等の発行やホームページの活用により情報提供を行う。</p>	実施	<p>医療センターNEWSの発行及びホームページを整備し情報提供を行った。</p>	3	3	<p>・ホームページ等で情報発信を積極的に行っていたきたい。</p>
5		予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画					
			—	省略（財務諸表等による）			
6		短期借入金の限度額					
	1	<p>限度額</p> <p>500 百万円</p>		500 百万円の短期借入			

				借入先：千葉興業銀行東金サンピア支店			
	2	想定される短期借入金の発生事由					
		(1) 運営費負担金等の受入遅延等による資金不足への対応 (2) その他、偶発的な資金不足への対応		運転資金等の資金不足により短期借入れを行った。			
7		出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画					
			-	平成26年度は該当する財産の処分はない。			
8		重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画					
				平成26年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。			
9		剰余金の使途					
				平成26年度においては、該当する剰余金がない。			
10		料金に関する事項					
	1	料金					
		省略		省略			
11		その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項					
	1	施設及び設備に関する計画 医療機器等の購入 総額：300百万円 財源：東金市及び九十九里町長期借入金等		医療機器等の購入費として総額300百万円を借入した。 財源：東金市及び九十九里町長期借入金			
	2	積立金の処分に関する計画					
				平成26年度においては、積立金の処分に関する計画はない。			